

2025年7月27日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第8主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

＜神の招き＞

前 奏 ① 天にましますわれらの父よ ベーム
② わが魂よ、主をたたえよ ブクステフーデ

招きの詞 詩編62:6~9

交読詩編 119:105~112

讃美歌 17

＜神の言葉＞

聖 書 エゼキエル書36:26~32
(旧約 聖書協会共同訳 1337 頁)
エフェソの信徒への手紙1:11~14
(新約 聖書協会共同訳 345 頁)

祈 禱
讃美歌 54
説 教 「約束された聖霊」
佐藤潤伝道師

祈 禱
黙 想
讃美歌 464

＜神への応答＞

使徒信条
献 金
主の祈り
宣教報告②
頌 栄 28
派遣と祝福

後 奏 ① 主イエスキリスト、われらを顧みたまえ パッハ
② われは汝に望みをおきたり パッハ

宣教報告①

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:30~11:30

夕 礼 拝 18:00~19:00

＜神の招き＞

前 奏 来ませ、聖霊 ツァハウ
招きの詞 詩編62:6~9
交読詩編 119:105~112
讃美歌 16
＜神の言葉＞
聖 書 詩編107:23~32
(旧約 聖書協会共同訳 931 頁)
ヨハネによる福音書6:16~21
(新約 聖書協会共同訳 171 頁)

祈 禱
讃美歌 59
説 教 「湖上を歩く主」
熊江秀一牧師

祈 禱
黙 想
讃美歌 456

＜神への応答＞

使徒信条
献 金
主の祈り
宣教報告
頌 栄 28
派遣と祝福
後 奏 来ませ聖霊、主なる神 パッヘルベル

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「主は道・真理・命」熊江秀一牧師
ヨハネによる福音書14:4~6
賛美: 今こそキリストの愛に应えて、新しい命、私
たちのこの口は、静まって知れ still 他

次週の礼拝(8月3日) 洗礼式② 聖餐式

① 9:00、② 10:30
説教「先立つ主イエスに従って」

熊江秀一牧師

ゼカリヤ書13:7~9、
マルコによる福音書14:26~31

交読詩編102:16~23

讃美歌17、371(②67)、449、78、28

夕 18:00

説教「主の道を備える者」

佐藤潤伝道師

イザヤ書40:3~5、
ルカによる福音書3:1~6

交読詩編102:16~23

讃美歌6、416、441、78、28

礼拝当番 ①8:30、②9:45、夕17:30 集合

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈祷当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 8月の宣教の為に
4. 平和聖日礼拝の為に
5. 牧師・伝道師の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄弟の為に

***関東教区お祈りカレンダー** 沼田教会 緑野教会 渋川教会

◇先週の説教より 「主の晩餐」 マルコによる福音書 14 章 22～26 節、出エジプト記 24 章 1～8 節 熊江秀一牧師

「主の晩餐」が与えられた。この出来事には二つの意味がある。

一つは、主イエスを中心とした愛の食卓。しかも主自らが備え、招いた食卓であることである。主と共に食卓を囲むことは、主から愛を頂くことである。教会での食事は愛餐会(アガペ)と呼ばれる。しかもその愛はご自身を与える愛である。私たちは主の極みの愛を持って、主の晩餐に招かれている。

もう一つは、主がこの晩餐を新しい過越の食事としたことである。主イエスは私たちに決定的な救いを与える新しい過越の小羊となられた。主の裂かれた肉によって私たちの罪は赦され、主の流された血によって私たちは贖われた。

主イエスはその恵みを心に刻むために聖餐を制定された。私たちは聖餐のパンを頂く毎に、主が全てを与えて犠牲になられた贖いの恵みを受ける。

そして杯を頂く毎に、神と人との契約(出エジプト記 24 章)、しかも動物によらず、主の血による新しい契約の恵みを頂く。

カトリック教会では聖餐のパンとぶどう酒は、神父の祈りによってキリストの肉と血に変わると理解する。しかしプロテスタント教会では主の十字架の記念として聖餐を行う。パンはパン、ぶどう酒はぶどう酒であるが、信仰を持って味わう時、聖霊によって主の体と血の恵みが私たちに満たされ、私たちは主と一つになる。主の十字架は私の罪のためであること、そんな罪人の私を主はなお愛し、食卓に招き、新しい契約を結ばれたことを心に留め、聖餐に預かろう。

主は最後に恵みの約束をする。主が再び来られ、救いが完成する「その日」、私たちは主に招かれ、主と共に神の国の祝宴に預かる。「その日」を待ち望み、その試食である聖餐を共に受けつつ、全ての人が主の晩餐に預かれるように伝道に仕えよう。